

留学だより No. 2

1. こんにちは

オーストラリア QLD に留学中の 15 期亀田です。ホストファミリーとの生活や学校にも慣れてきました。東京では雪が降ったそうですね。こちらは夏のピークは過ぎたもののまだまだ暑いですが…。今回はオーストラリアの教育や学校生活についてお伝えします。

2. QLD の教育

見出しを「オーストラリア」ではなく「QLD」としているのは、教育に関してはオーストラリアという括りではなく各州が管轄しているからです。大きく違うことはないと思いますが、私が今回述べることは他の州では違うかもしれないのでご注意ください。

まず、学年は日本と違い 1 月から始まります。学期 (Term) は 4 学期制でそれぞれ 10 週間あり、その間にそれぞれ 2, 3 週間の School Holiday があります。また、今年から新しく「学校ではスマートフォンを使ってはいけない」という法律ができました。そのため学校の写真はほとんど撮っていません。皆さんに学校の様子をお伝え出来なくて残念です。友達も皆「Crazy Law!!」と言っています。



3. Varsity College

私が通っている学校は Varsity College という小中高一貫の州立学校です。小中高一貫と言っても、小学校にあたる Primary Campus と中学・高等学校にあたる Secondary Campus は少し離れており、普段は Year 6 ~ 12 の生徒しか見かけないので小石川と同じような感じですが。全校生徒は 12 学年合わせて 3000 人を超えます。とにかく広いので教室移動が大変です。意外だったのは制服に関する規則が意外に厳しいということ。シャツ、ズボン、ネクタイ、靴下、バッグは学校指定、靴は革製でないといけません。この学校の Primary School で体育の先生をしているホストマザーいわく、ゴールドコーストで一番真面目な生徒が多いとのこと。自分の学校なので若干大げさに言った可能性もありますが、確かにほとんどの生徒が集中して授業を受けている印象です。





体育館です。校舎から道を挟んだところにあります。



制服一式です

4. 時間割と各教科

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
8:15-8:25	Roll Class	Roll Class	Roll Class	Roll Class	Roll Class
8:30-9:40	Physics	English	Roll Class	Physics	Film&Television
9:45-10:55	P.E.	Math	History	P.E.	History
10:55-11:35	Break 1				
11:35-12:45	English	History	Film&Television	Math	P.E.
12:45-1:15	Break 2				
1:15-2:25	Math	Film&Television		English	Physics

授業は一日 70 分×4 コマです。6 種類の授業がそれぞれ 3 回ずつあります。水曜日はなんと 12:45 に学校が終わります。Roll Class はホームルームのことで事務的な連絡が主な目的です。私のクラスは 10M で、1 学年に 13 クラスもあることに衝撃を受けました。

授業で驚いたことは、どの教科も教科書は存在しないということです。すべて学校から貸与される Laptop からそれぞれの先生独自の教材へアクセスして授業が進んでいきます。紙媒体で何かをすることが少なく、そこが日本との教育の大きな違いだなと感じます。また、テストがある教科は私がとっている 6 つの授業の中では数学と体育くらいしかなく、その他の教科はすべて 1000 語程度のレポートを提出することで成績がつきます。

(i) Physics (物理)

基本的に日本で履修した内容の復習です。そのため内容はそれほど難しく感じないのですが、使う用語が難しいです。また、文章で用語を説明する問題がよく出るため苦戦しています。

(ii) P.E. (体育)

Term 1 はバドミントンと Touch Football をやっています。Touch Football はあまり聞きなじみがないと思います。ラグビーの練習のためにオーストラリアで生まれたスポーツで、タックルの代わりにタッチして相手の攻撃を止めるラグビーです。一緒にゲームをすることでこの授業の中で友達がたくさんできました。

(iii) English (英語)

Term 1 は戦争に関する詩や歌を分析するという内容です。英語の韻や比喻表現など、普段勉強しない英語の側面についても知ることが出来たので非常に面白い授業です。「I was only 19」や「And the Band Played Waltzing Matilda」など、オーストラリアの戦争に関する歌も分析しました。(ぜひ聞いてみて下さい)。しかし、授業で使う単語、詩や歌に出てくる単語は知らないものも多く、そのうえ、たくさんの文章を読まなくてはいけないためとても疲れます。先生も親身になってサポートしてくれるので何とか授業についていくことができ、先日、無事に課題を提出しました。

(iv) Math (数学)

驚いたことは電卓を多用することです。手計算する必要がないので楽ですが、桁数が大きい数字もよく登場するので、答えがあっているか不安になります。また、日本では円周率に関して「 5π 」のように π を含ませて回答するのが一般的ですが、こちらでは特にことわりがない限り、円周率も 3.1415...として計算し小数で答えなければいけません。これに慣れるまで時間がかかりました。

(v) History (歴史)

第二次世界大戦について勉強しています。日本と戦ったオーストラリアの視点から戦争を見ると日本との違いが多くあり、とても興味深いです。日本軍がオーストラリア本土に対して空襲を行ったことについても、もちろん広島・長崎の原子爆弾のことについても学びました。原爆についてクラスで意見を交わしたのはとても有意義な時間でした。ちなみに先生は話すのが速いうえに、オーストラリア訛りが激しいので聞き取るのが大変です。

(vi) Film & Television

せっかくなので日本の高校にはない授業を履修しようと思い選択してみました。現在の内容は映画における German Expressionism を分析するというものです。難しいですが、新鮮で面白い授業です。次は自分で映画を作るという課題が出るそうです。先生は日本に留学経験があるので私に対してとても親切にしてくれており、いつも助かっています。Varsity College には他にも、Drama (演劇)、Digital Solutions (ソフトを作ったりプログラミングをしたりするそうです)などの特別な教科があります。

5. クイズコーナー

まずは前回の答え合わせから。問題はオーストラリアの国旗は七芒星と五芒星はそれぞれいくつ描かれているか、でした。正解は、七芒星が5個、五芒星が1個です。ユニオンジャックの下が一番大きい星は Commonwealth Star と呼ばれ、オーストラリアの6つの州と特別地域を表しています。右半分の星々は南十字星を表しており、オーストラリアが南半球の国であることを表しています。



今回はスポーツからの出題。オーストラリアやニュージーランドではラグビーは非常に人気なスポーツです。先日も Indigenous (オーストラリア先住民) 対 Māori (ニュージーランド先住民) の試合が行われていました。両チームの試合前パフォーマンスが印象的でした。しかし、私が見慣れているラグビーとはルールが全然違ったので驚きました。ホストファザーに聞いてみたところ、日本でよく知られるのは15人制のラグビーユニオンという種類ですがオーストラリアでは、13人制のラグビーリーグの方が人気らしく国内リーグもあります。ラグビーリーグは激しいぶつかり合いは少なく、スクラムでの押し合いもありません。また、タックルが6回成功すると攻守交代となるため、攻撃チームは5回タックルされた時点で相手陣後方にボールを蹴り出します。そのため試合展開が早いのが特徴です。



Indigenous 対 Māori のテレビ中継

それでは問題です。ラグビーユニオンではトライをすると5点が入りますが、ラグビーリーグでは何点が入るのでしょうか。答えは次号にて！

今回は教育中心のまじめな話が多くなってしまいましたが、お楽しみいただけたでしょうか。次回は私の友達や現地の高校生に人気なものなど、生活面のことに焦点を当てていきたいと思います。それではまたお会いしましょう。

15期 亀田

Rocky はかわいいのですが、やんちゃです。先日も遊んでいたら服をかまれて穴が開いてしまいました。

